



## 『卓話：国際奉仕と国際交流の違い』 藤林 良昭 会員

### 【会長挨拶】 成田 恭隆 会長



先日、フランスのパリで社会風刺専門の新聞社がテロで攻撃され、編集長以下編集員記者が殺害されました。その犯人たちが警察に追われ、パリ北部の印刷工場とパリ東部のスーパーマーケットに人質を取って立て籠もったことは報道で知っていましたが、パリ東部がヴァンセンヌと聞いた時は驚きました。ヴァンセンヌには私達家族と二十年以上のお付き合いのある方が住んでいます。何回かお宅に招かれたことがありますので、すぐに母親に連絡したところ、何回電話しても話中でした。後で知ったことですが、そのパリの知り合いからの電話が入っていたそうです。

しかし、風刺は権力者に対する庶民鬱憤を晴らすものですが、それが万人に受け入れられるとは限りません。言論の自由を考えますと、暴力によって意見を封じ込めようとするのは本当に残念です。ロータリーでは、お互いの文化を尊重し理解し合うことが、平和へ繋がると考えています。

さて、話は変わりますが、私は最初に入会して二年目にお不動様から節分の年男の案内を頂きました。参加を迷っていましたが、会長、幹事が参加することだったので、私も参加することにしました。年の区切りの感じがしました。もし一度も参加したことの無い会員さんは、一度参加してみてもと思います。時間等のご都合の時間に合わせることができます。

### 【幹事報告】 松浦 信平 幹事



- ・地区大会全体会（2/25）にご出席ください。
- ・新春初舞をお願いした左門会員から、御礼全額をニコニコでお返しいただきました。ありがとうございます。
- ・日野市から「はたちの献血」キャンペーンのポスター掲載の協力依頼が来ています。
- ・高幡不動尊からの節分会（2/3）の案内が来ています。
- ・東京サンライズ汐留RCより例会場、事務局の案内が来ています。
- ・東京青山RCより25周年記念式典（3/30）の案内が来ています。
- ・米山奨学会よりニューズレター「ハイライトよねやま」が来ており、回覧します。
- ・ガバナー月信1月号を回覧します。ポールハリス・フェローとして表彰された成田会長、杉田会員、小宮会員、藤林会員、奥野会員のお名前も載っています。

### 《例会プログラム》

#### 【司会】

土方 淳  
例会向上委員長



#### 【開会点鐘】

成田 恭隆 会長

#### 【ロータリーソング】

ソングリーダー  
横倉 利夫 君  
『我等の生業』



#### 【ニコニコ報告】

小峯 敏夫 委員

#### 【出席報告】

疋田 久武 委員

#### 【委員会報告】

社会奉仕委員会  
例会向上委員会

#### 【卓話】

藤林 良昭 会員

### 【ポールハリス・フェローの表彰伝達式】



## 【社会奉仕委員会】 藤林 良昭 委員長

新年早々、杉田会員よりペットボトルのキャップを沢山頂きました。ありがとうございます。

## 【例会向上委員会】 土方 淳 委員長

来週の例会は、1月25日（日）、  
ひの煉瓦ホールにてブリティッシュヒルズ中学生国内留学報告会に振替となっています。

## 【卓話：国際奉仕と国際交流の違い】 藤林 良昭 会員



国際奉仕と国際交流の違いをお話しますと、国際奉仕はロータリーから生まれた言葉で、一般的には人道支援です。人道支援の中で、特に難民支援です。難民は世界に500万人から1000万人存在し、国際紛争があることで生まれます。この難民支援は難民高等弁務官事務所が支援して、ロータリーに関係のある緒方貞子さんが、第8代国際難民高等弁務官として長らく活躍されていました。現在はお辞めになっております。

それでは、ロータリーにおける数多くの奉仕活動の中で最も美しい花だと言われている国際奉仕は、その評価とは裏腹に一部の限られたロータリアンの活動の分野であって、一般のロータリアンにとって縁の無い存在であると考えている人も多いようです。しかしながら、国際奉仕、発展途上国に対する人道的奉仕活動という新しい地域社会からのニーズによって、国際奉仕活動の新しい流れが生まれてきました。

その一つは、従来からの国際奉仕の目的であるロータリアンの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する活動であり、その具体的な活動として、ロータリー友情交換、ロータリー親睦活動、国際青少年交換などが挙げられます。

もう一つは、人道的奉仕活動として、発展途上国に対する飢餓、貧困、疫病、教育等の国際的援助活動です。社会奉仕の活動によって、飢餓や貧困が原因となる国際紛争を抑止することが可能ならば、この活動も究極的には、恒久の平和につながると考えます。

ロータリークラブの海外における人道的支援活動をいくつかご紹介します。現在のフィリピンにおける活動の原点となったのは1980年後半から始まったマニラ郊外トンド地区のスモーカー・マウンテンにおけるストリート・チルドレン対策です。1990年には隣接するナボタスに2年計画でロータリーセンターを建設して、現地医師の協力を得て、乳幼児や歯科の無料検診や、電動ミシンを導入して、スラム街の女性の為の授産所運営もしました。1990年後半、ネグロス地区に深井戸掘削やロータリー財団から30万ドルの補助金で、約40万人の学童を対象にして、識字教育を実施しています。

それでは、2750地区ではどうでしょうか。特にフィリピンで力を入れているのは、坂本ガバナーが中心となっていて行っているバキオの国際奉仕です。この地区には貧困の子供たちがたくさんいて、特に識字教育の向上を目指し、今では大学までバキオ基金で行っています。2750地区の国際奉仕の現状は、カンボジアでは小学校の建設、教師育成支援、アンコール森の再生支援、子供の識字率向上。タイでは、井戸掘り、識字率の向上支援、ザンビアでは、マラリアの予防の蚊帳資金援助。その他アフリカも含め、支援活動の国際奉仕をしております。

では、国際交流とはどんなことをしているのでしょうか。国際交流は文化の交流です。文化には、食の文化、舞踊等の芸術の文化、宗教上の文化、服装の文化、生活の文化、言葉の文化といろいろあります。国際交流活動は、この文化を通じて外国人と交流を深め、親睦を深め、恒久平和を目指しています。人種、宗教、言葉に一切関係なく人と人との絆、平等の精神で接して、そこに友和が生まれるのが国際交流です。

## 【ニコニコ報告】 小峯 敏夫 委員

**本日のニコニコ： 42,000円／累計 630,530円**

**ビジターフィー： 0円／累計 38,000円**



左門 左兵衛 君 明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。  
清水 博雅 君 新年初めての出席です。皆様おめでとうございます。何かと元気に新しい年を迎えました。  
成田 恭隆 君 山口さん、帰りの特急で席を譲って頂き有難うございました。藤林さん卓話楽しみにしています。  
松浦 信平 君 いよいよ本年も本格始動です。下半期も宜しくお願いします。  
杉田 純一 君 初めての出席です。おめでとうございます。

※『一服も奉仕でごザル』からもニコニコをいただいております。

## 【 出席報告 】 疋田 久武 委員

正会員総数 35 名 (内、免除会員数 4 名)

出席会員総数 24 名 (内、出席免除会員数 4 名)、MU3 名、合計 27 名。

よって、出席率は 77.14% です。来週は、ぜひ 80% 以上の出席率を目指したいと思います。



## 東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0042 東京都日野市程久保 3-37-3

TEL：042-594-3711 fax：042-593-0510

例会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿

URL：<http://www.hino-rotary.org>

メール：[info@hino-rotary.org](mailto:info@hino-rotary.org)

会長：成田 恭隆

幹事：松浦 信平

会報委員長：宮野 孝雄

会報委員：森原 豊

奥野 誠也

熊井 治孝

山口 徹雄

井村 廣巳